

# スポークスマン

From 中華人民共和國駐大阪總領事館



VOL.23 2023年1月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka

## 総領事の新年挨拶

# 信念を強く持ち、共に春を迎えよう

新しい年を迎えるにあたり、中国駐大阪総領事館を代表いたしまして、総領事館業務エリアの二府十二県の日本の皆さま、華僑華人や中資企業、留学生の方々に、謹んで新年のご挨拶を申し上げ、昨年当領事館に対していただきましたご関心とご支持に、心から感謝いたします。

過ぎ去った2022年は、中国にとって平凡ならざる一年でありました。複雑で厳しい国内外の情勢に対し、中国共産党の力強い指導のもと、中国人民全体が力を合わせ、積極的に前進し、コロナ予防と経済・社会の発展を統一的に実施し、新しい発展理念を徹底し、新しい発展構造を構築し、質の高い発展を推進して、北京冬季オリンピック・パラリンピックを成功裡に開催させ、各事業において新たな成果を得ました。中国共産党第20回全国代表大会が開かれ、過去10年に中国が得てきた偉大な成果を全面的に総括し、今後5年ないしはより長期間にわたる中国の発展の壮大な計画をつくりあげました。私たちはこれに導かれて、中国式現代化建設を絶えず推進し、ハイレベルな対外開放を堅持し、開放型世界経済の構築を推進し、発展に有利となる国際環境をつくりあげ、中国や世界各国の人民により多くの恵みをもたらすことでしょうか。

2022年は中日関係にとっても、記念すべき年となりました。双方は国交正常化50周年という歴史的節目を迎え、これを契機として、重要な政治・外交活動を積極的に行い、両国各界で計百回にもおよぶ記念活動が開催され、中日関係の改善・発展に努めることで一致しました。習近平主席と岸田首相は初めての対面による会談を実現させ、双方は戦略的な高みから、中日関係の重大な問題についての深い意思疎通をはかり、新

時代の要求にかなった建設的で安定した中日関係の構築についての重要なコンセンサスを再度確認し、両国関係の進む方向を指し示し、強力なパワーを注ぎ込みました。



2023年を展望すると、中日関係の改善・発展に有利な要素を引き続き見ることができます。2023年は中日平和友好条約締結45周年にあたりますが、この条約によって中日関係の政治原則や法律規範が確立し、両国関係の重要な一里塚となりました。2023年は中国の改革開放45周年でもあります。日本は中国の改革開放事業の参与者・受益者であり、中国の改革開放史に中日互惠協力という歴史を力強く書き入れました。われわれはこの二つの重要な節目を契機として、平和友好の初心に立ち返り、協力ウィンウィンという強い信念をもって、両国関係を好転させていこう引き続き努力していかなければなりません。

総領事館業務エリア各界との広範な接触、そして国交正常化50周年記念活動のなかで、私は日本の民間や地方の対中交流に対する積極的な意欲を深々と感じ取ることができ、中日友好の未来に自信を抱いています。新しい年には、力の及ぶ限り、業務エリア各界の有識者の皆さま方とともに、条約締結45周年を契機として、続けて中日友好の素材を深く掘り起こし、積極的な交流協力を展開し、両国の人民の心の通じ合いを深め、中日民間交流の新たなブームを起す助けになりたいと思っています。



# ニュースで見る中国 2022

ニュースで見る中国 2022 ニュースで見る中国 2022 ニュースで見る中国 2022 ニュースで見る中国 2022

1月1日



地域的な包括的経済連携(RCEP)協定が正式に発効し、中国・ブルネイ・カンボジアなどのASEAN6カ国および日本、ニュージーランド、オーストラリアが正式に協定の実施を開始した。

2月4～20日、3月4～13日



第24回冬季オリンピック・第13回冬季パラリンピックが北京で開催された。中国は新型コロナウイルスなど各種の困難を克服し、簡素、安全で、素晴らしいオリンピックを世界に捧げた。

2月28日

国家統計局は、中国国内総生産(GDP)が114兆4000億元に達したと発表し、2012年比で112.2%増となった。

3月5～11日



第13期全国人民代表大会第五回会議が北京で開催された。

4月18日



国家植物園が北京で正式にオープンし、中国で設立された初めての国家植物園となった。

4月21日



習近平主席がボアオ・アジアフォーラム2022年年次総会の開会式に出席して基調講演を行い、初めてグローバル安全保障イニシアティブを提起した。

5月10日



中国共産主義青年団成立100周年祝賀大会が北京で盛大に開催された。

5月11日

国際通貨基金(IMF)が特別引き出し権(SDR)の通貨構成比を見直し、人民元の比率を引き上げた。

6月5日

有人宇宙船「神舟14号」の打ち上げに成功し、3人の中国の宇宙飛行士がコアモジュール「天和」に進駐した。



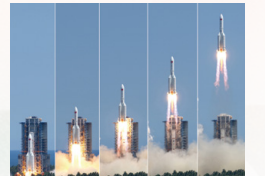
7月1日

香港祖国復帰25周年祝賀大会が香港で盛大に開催され、習近平主席が出席して重要な演説を行った。



7月24日

実験モジュール「問天」の打ち上げに成功した。翌日、実験モジュール「問天」はコアモジュール「天和」とのドッキングに成功し、中国最大のトンクラスの二つのモジュールの有人状態での第一回ドッキングを実現させた。



9月5日

四川省カンゼ・チベット族自治州瀘定県でマグネチュード6.8クラスの地震が発生し、93人が犠牲になった。

10月16～22日

中国共産党第20回全国代表大会が開催され、中国は社会主義現代化国家の全面建設の新たな道のりへと足を踏み入れた。



11月30日

中国共産党第三代中央指導グループの中心メンバーで、中国の元国家主席である江沢民同志が病気のため死去した。享年96歳。

12月26日

中国国務院は2023年1月8日から、新型コロナウイルス感染症に対し「乙類乙管」を適用すると発表し、隔離措置や入国者・貨物に対する検疫・感染症管理措置をとらないことを発表した。



# 流行語で見る中国 2022

## 中国式現代化

新中国成立、特に改革開放以降の長期的な模索・実践を元に、中国共産党は中国式現代化の推進と発展に成功してきた。中国式現代化は各国の現代化と共通する特徴があるだけでなく、自国の国情に基づく中国的特色をもち、人口規模が巨大な現代化であり、全体人民が共に豊かな現代化であり、物質文明と精神文明が互いに協調する現代化であり、人と自然とが調和し共生する現代

化であり、平和発展の道を歩む現代化でもある。中国共産党第20回全国代表大会で習近平総書記は、「これから中国共産党の中心的な任務は、全国各民族人民を団結させ率いて社会主義現代化強国の全面的完成という二つ目の百周年を節目とする奮闘目標を実現し、中国式現代化をもって中華民族の偉大な復興を全面的に推進することだ」と厳粛に宣告した。

## 全過程人民民主

中国共産党は新たな歴史的方位に立ち、民主法治・公平正義という人民の新たな要求、新たな期待に積極的に応え、「全過程人民民主」という重大理念を提起したが、その主な内容は、人民が国家の主人という制度システムを健全化し、社会主義協商民主の重要な役割を発揮させ、民主の形式を豊かなも



のとし、民主のチャンネルをスムーズにし、各層・各分野において人民の秩序ある政治参加を拡大させるというものである。第20回党大会の報告は、全過程人民民主を中国式現代化の本質的要求の重要な内容として確定し、全過程人民民主は社会主義民主政治の本質的な属性であることを強調している。

## ビンドゥンドン

ビンドゥンドンは2022年北京冬季オリンピックのマスコットで、中国の国宝であるジャイアントパンダのイメージと、未来感あふれる氷のシェルを巧妙に融合させたもので、中国的特色を示すと同時に、革新的なサイエンス



テクノロジーによりウィンタースポーツにエネルギーを注ぎ込むという理念を伝えるものとなっている。ビンドゥンドンのイメージは友好的でかわいらしく、発表されるなり注目を浴びて、品不足が起こるほどの人気となった。

## 天に選ばれた出勤者

「天に選ばれた出勤者」とは、何が起きようとも出勤する人のことで、コロナ期間中でもウイルスに感染しない、あるいはコロナの影響を受けずに出勤し続ける人が自嘲

的に自らを呼んだものだ。出勤しなくてすむ同僚をうらやむだけでなく、どんなひどい状況でも家を出て働きに行けるという自分の幸運をかみしめる言葉でもある。



## 劉畊宏ガール

劉畊宏ガールとは、歌手の劉畊宏のライブ配信を見ながら、一緒に健康体操をする女の子のことである。2022年4月、歌手の劉畊宏が、ジェンズ体操と腹筋のラインのエクササイズダンスのライブ配信を

始めた。人気曲を使った目新しい形式のエクササイズに、一緒にエクササイズダンスを行う「劉畊宏ガール」を自称するネットユーザーが大量に生まれ、ネットでブームを引き起こした。コロナを背景に、家でライブ配信を見ながらエクササイズを行う方法は、中国でますます人気が高まっている。



# エンターテインメントで見る中国 2022

## 【テレビドラマ】

### 『人世间』

このドラマは、北方の都市のある平民コミュニティを背景に、周家の三人の子どもをはじめとする十数人の平民子弟が、ここ50年で経験した波瀾に富んだ人生の物語である。このドラマは家族史であり、1970年代から現在に至るまでの中国の一般庶民の生活と社会の変遷を描いた叙事詩でもある。



### 『县委大院』

このドラマは、新たに県長に就任した梅曉歌が、光明県の産業発展をリードし、取り壊しによる移転、環境保全、企業・資本誘致などの度重なる問題を解決し、最終的に貧困から脱却して豊かになっていくという物語である。このドラマは中国の末端の社会統治の現状を如実に反映したもので、多くの公務員はこれを見た後、ドラマでは大院（職場）内外の人々があま

## 【映画】

### 『水門橋』



この映画は、朝鮮戦争の第二次戦役における長津湖戦役を背景とし、中国人民志願軍第九兵团第七連隊の戦士たちが米国第一海兵師団の撤退を阻止するため、連隊長の伍千里に導かれ、敵軍の激しい砲撃を克服し、水門橋を爆破して、敵軍の退路を断つことに成功した物語であり、志願軍戦士の死を恐れず国を守る勇敢さと愛国心を描き出している。

### 『万里归途』

この映画は、実際に起きた事件を下敷きにしたもので、外交官の宗大偉と外交部の新人である成朗が命令を受け、戦争下にある異国に向かい、華僑の引き上げを助けた物語であり、何もた



## 【映画】

### 『孤勇者』

『孤勇者』は、ゲーム『リーグ・オブ・レジェンド』の中国語テーマソングで、人気歌手の陳奕迅が歌っている。歌詞には孤独なヒーローの心の叫びが歌われ、いかなる逆風、いかなる窮地にも、夢や己のために力を振り絞って戦わねばならず、生活の中のさまざまな苦難に直面する勇気をもつよう人々を励ますものだ。この曲は中国で広く歌われ、カタール・ワールドカップの準決勝戦でも流された。



### 『如願』

『如願』は王菲(フェイ・ウオン)が歌う、映画『我和我的父輩(父に捧ぐ物語)』のテーマソングである。この歌は、親世代に捧げられたもので、彼らの奮闘と貢献によって今の素晴らしい環境や生活が作りあげられたことに対する感謝の気持ちを示しており、それがタイトル「願いが叶う」が意





### 『幸福到万家』



りにリアルに描かれているため、まるで自分を見ているかのように感じたと評価している。

このドラマは、何幸福という名の女性が、仕事と結婚、愛情と肉親の情といった幾重にも重なる試練をくぐりぬけ、成長していく物語で、中国の農村振興戦略や農村精神文明建設、法治文明建設の成果の展開が重視されている。ドラマ全体を通して、一人の人間や家族、そして村の成長史・変化史・発展史が軸となって、中国の新時代の農村振興の発展過程が描かれている。



### 『人生大事 (ライトアップ・ザ・スターズ)』

ない外交官が戦火や砂漠を抜けて、反乱軍の銃口に直面しながらも、徒歩で万里を超え、125人の同胞を安全に祖国に連れ戻した経緯を描いている。この映画では人民を中心に考える中国外交の価値観を基調とし、中国外交官の智慧と勇気、責任感を生き生きと描き出している。



この映画は、葬儀師の莫三妹が刑期を終えて釈放されてすぐに行った仕事のなかで、孤児の武小文と出会い、双方が奇妙な親子のような感情を育み、最終的には莫三妹が職業や生活に対する態度を改めるという話である。葬儀師を主役にすえ、「死」という禁忌のテーマを避けることなく捉え、心温まる話となっていて、死の厳粛さのなかに世間の騒がしさが織り込まれ、心が慰められると同時に、生命の価値、生活の意義をも考えさせられる。



### 『一起向未来 (ともに未来へ)』

味するものだ。この歌は中国人の血に流れる捨てがたい家族や国への想いを歌っていて、それによってもたらされる感動やパワーは、これを受け継ぎ、奮闘するよう現代の中国人を鼓舞している。



『一起向未来 (ともに未来へ)』は、2022年北京冬季オリンピック・パラリンピックのスローガンを宣伝するための歌で、国境・種族・文化を超えたオリンピック精神を伝え、冬季オリンピックに対する人々の憧憬や期待を歌いあげたものである。世界各国が新型コロナウイルスの危機と試練のただ中にあるなかで、「誰もが愛を必要としているのだから、みんな手を取り合おう」は、普通の人々が誰しも心の中に抱く期待であり、中国人民と世界人民が手を取り合い、肩を並べて困難と闘い、共に未来をつくりあげるという強い決心を表現している。





# 中日関係 2022

2022年5月18日、王毅國務委員（当時）と日本の林芳正外相がテレビ会談を行った。双方は両国首脳が2021年10月に合意に達した重要なコンセンサスを手引きとし、国交正常化50周年を契機とし、双方間の対話・コミュニケーションを強化して、敏感な問題を妥当に処理することに一致して同意した。



2022年8月18日、楊潔篪中国中央外事委員会弁公室主任（当時）が天津において、秋葉剛男国家安全保障局長と共に中日第9回ハイレベル政治対話を主宰した。双方は中日関係と、共に関心をもつ国際・地域問題について率直な深く建設的な対話を行い、いくつかの有益なコンセンサスに達した。



2022年9月22日、李克強総理は、日本経団連・日中経済協会・日中投資促進機構の責任者および日本経済界の代表とともに、ハイレベル・オンライン対話会を開き、中日関係および経済貿易協力、世界の経済・金融問題、気候変動、高齢化への対応などの広範な議題について対話・交流を行った。



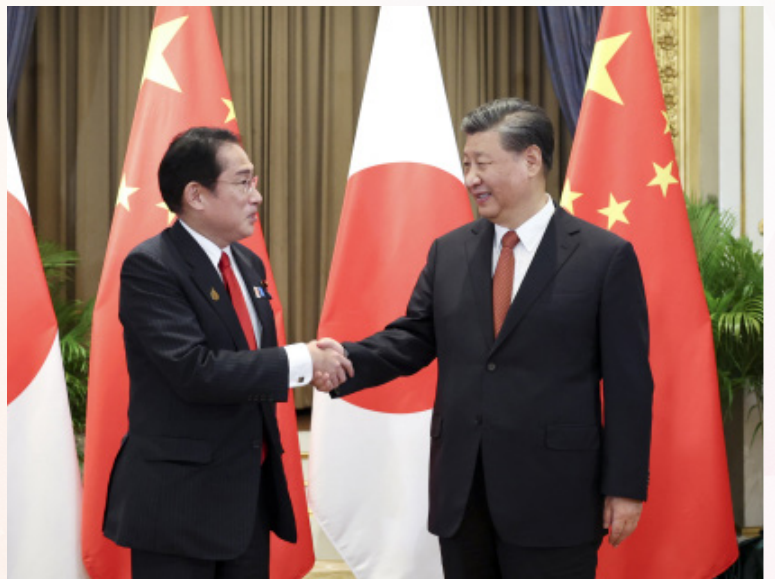
2022年9月29日、習近平国家主席は中日国交正常化50周年に際して、日本の岸田文雄首相と祝電交換を行った。



2022年9月29日、中国人民対外友好協会と中日友好協会は北京で中日国交正常化50周年記念招待会を開催した。両国政府機関、民間団体、企業、メディアなどの各界人士200人近くが出席し、全人代常務委員会副委員長長の丁仲礼、日本の垂秀夫駐

中国大使が挨拶を行った。同日、日本経済団体連合会と日中友好団体が東京で記念招待会を開催した。日本の経済界および日中友好人士850人あまりが出席し、孔鉉佑中国駐日本大使、日本の林芳正外務大臣が挨拶を行った。

2022年11月12日、李克強総理がカンボジアのプノンペンで開かれた東アジア協力首脳会議の期間中、岸田文雄首相と会談を行った。李総理は、中日は引越すことのできない隣人であり、双方はどちらも両国の政治・経済貿易・文化などの分野における協力強化に尽力し、共に両国関係の安定的で健全な発展を推し進めていかねばならないと語った。岸田首相は、日本は日中が友好的な関係を保ち、中国とともに両国関係の前向きな発展を推進し続けることに賛同すると述べた。



2022年11月17日、習近平主席はタイのバンコクで開かれたアジア太平洋経済協力会議（APEC）第29回非公式首脳会議に出席した際、岸田文雄首相と会見した。双方は、ハイクラス交流や対話・コミュニケーションを保持し、政治相互信頼を強化し、実務協力を推進し、文化交流を拡大させ、国際地域関係の調整・協力を強化し、共に新時代の要求にかなった安定的で建設的な中日関係の構築に尽力することで一致した。

2022年を通し、中日国交正常化50周年をめぐり、両国の官民各界は百回におよぶ豊富多彩で多様な形式による記念活動を開催し、さらに中日関係の改善・発展のコンセンサスを集めた。



## 2023 年の展望



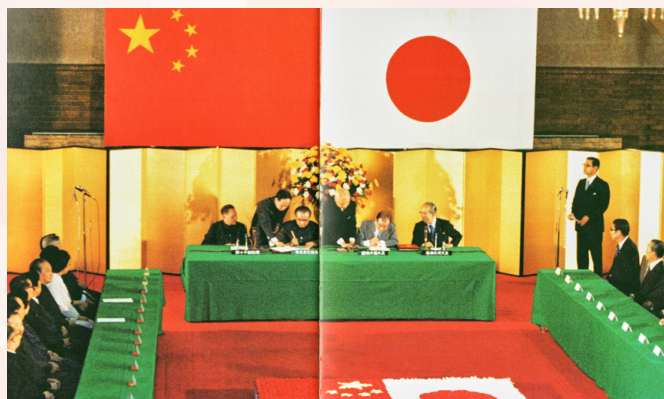
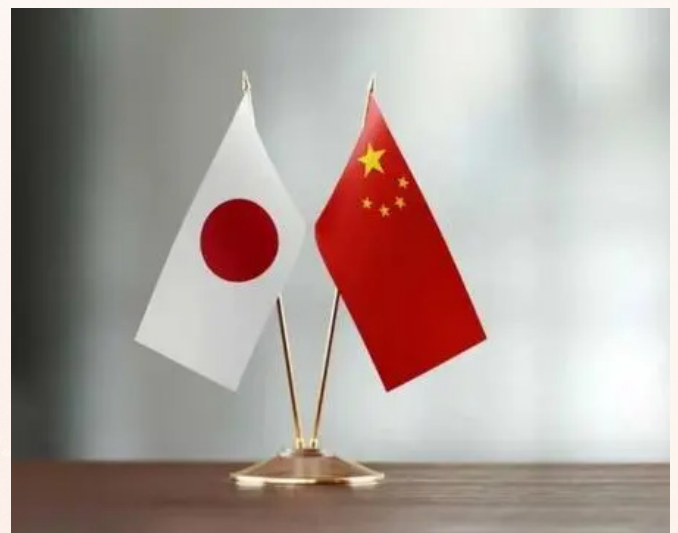
### 中国の改革開放45周年

1978年、中国共産党第11期三中全会で改革開放という重大な政策決定が行われた。それから45年間、改革開放の持続的推進を経て、中国は封鎖・半封鎖から全面的な開放へと歴史的な転換を実現し、世界に注目される発展の成果を得た。日本は中国の改革開放と

現代化建設に積極的に参与・支持し、中国の改革開放の貢献者であり、受益者であった。改革開放45周年を契機として、中日双方は協力の信念と決意を固め、新時代の互惠ウィンウィンという新たな物語を続けて書き記していくことを期待している。

### 中日平和友好条約締結45周年

1978年8月12日、中日両国政府は北京で中日平和友好条約を締結した。この条約の締結は、1972年9月の中日共同声明の発表以来、両国関係史上のまた一つの新たな一里塚となり、中日関係に政治的・法的基礎を打ち立て、両国の政治・経済・文化・科学技術などの各方面の交流と協力を重要な条件をつくりあげた。条約締結45周年という歴史的節目に



立ち、中日双方は平和友好の初心を温め直し、続けて共に覇権主義に反対するという条約の趣旨にそって、中日関係を正確な方向に沿って持続的・安定的に前へと推し進めていくべきだ。



# 写真で振り返る中国駐大阪総領事館の2022年



1月22日、薛劍総領事が西日本中国留学生春節交歓会で留学生に新春の挨拶



1月26日、新春オンライン招待会と「春節バック」オンライン発送式を開催



2月4日、薛劍総領事が大阪観光局の溝畑宏理事と北京冬季五輪について歓談



2月22日、中日野良動物保護オンライン交流会を開催



2月23日、公共外交アドバイザー任命式を開催



3月27日、薛劍総領事が日本戦争孤児を見舞い



4月7日、「遠くて近い新疆」オープンデーを開催



4月20日、「国際中国語デー」講座を開催



4月、日中友好スタンブラリーを主催



5月10日、奈良対中交流茶会を開催



5月18日、伊春市とベアリング支援枠組み協定を締結



5月、「茶文化交流 in 和東町」イベントを開催



6月16日、西日本地区中日友好交流大会を開催



6月17日、薛劍総領事が奈良県の小学生と田植えを体験



7月20日、敦煌文化特別講座『世界の敦煌』を開催



8月30日、「漢詩を楽しむ」漢詩講座を開催



9月8日、「中日国交正常化50周年記念中秋中華グルメフェスティバル」を開催



9月28日、中華人民共和国成立73周年及び中日国交正常化50周年記念レセプションを開催



10月11日、西日本地区中国留学生心理健康ケア活動キックオフ会議を開催



11月11日、「2022大阪・中国映画週間」を開催



11月22日、特別婚姻登記サービスデー活動を開催



11月25日、保定京都中日陶磁器セラミックス交流会・フォーラムを開催



12月5日、「新時代を理解し、第20回党大会を解説」セミナーを開催



12月17日、ジャイアントパンダ「永明」の「中日友好特使」任命式及び「私とパンダの旅」活動を開催



今年、「中国を理解する」オンラインセミナーシリーズ Ver.2.0 を10回開催

総領事館の活動についてさらに知りたい方は、ニューメディア・アカウントにご注目ください！

中華人民共和国駐大阪総領事館

〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町3-9-2  
連絡先: 06-6445-9481 (代表)



総領事館  
Twitter



総領事  
Twitter



総領事館  
Facebook



総領事館  
YouTube



総領事館  
TikTok



総領事館  
HP

制作協力: 中国外文局アジア太平洋広報センター  
(人民中国雑誌社、中国報道雑誌社)